

## 二次評価全体についての意見抜粋

## 【計画に対する実績がない】

- ・導入の効果、課題の把握分析についての結果記載がなく判断ができない。
- ・工程表に記載のある「マッチングシステムの制度構築」が出来たのか不明
- ・若者が地区で活動したことで、どのような活性化効果があったのか記述がないので判断できない。
- ・計画にある制度の検討については進捗状況に記載がないが、どうか。

## 【担当課評価に対する理由（要因の分析）がない】

- ・計画のどの点が遅れているのか、わからないので判断できない。
- ・担当課自己評価には、計画通り進めることが出来ている、とあるのでBではないのか。Aとするならその理由を明記してほしい。
- ・「A」評価の施策で、特に、当初目標の効果額を大きく上回るような実績が生み出させた場合、その要因も記載してほしい。効果の要因分析は大事なことだと思われる（偶発的なことが影響してのことなのか、職員の“やり方”に工夫があったのか等）。

## 【評価内容の具体性に乏しい（「概ね計画通りに進めている」としか書かれていない等）】

- ・単年度計画の研修が実施できていないため。また、担当課自己評価をもう少し具体的に記載してほしいです。
- ・検討の方法、内容も記載してもらいたい。
- ・資料を読んでも結果どのようなことをしたいのか具体的なものがわからなかったため。

## 【指標に課題】

- ・希望のあった地域への派遣 100%を指標としているが、断る可能性は低く、指標として不適當。
- ・回答率ではなく、ストレスチェックの結果の改善が成果ではないのか？
- ・目標の稼働率が 30%とあるが、目標として適切とは思えない。
- ・職員数減少傾向の中で「長期病休者数は横ばい」は率としては増加傾向。ストレスチェック回答率 100%が目標でなく、長期病休者率の減少を目指すべき。

## 【計画の進め方について】

- ・制度の導入が取り組み内容なので、5か年計画にはそぐわないのではないかと。以後は、必要に応じた見直しで良いと思う。
- ・毎年同じことを淡々と続ければよい計画は、5か年計画は不要で、自己評価・確認ができていれば良いのではないかと。

- ・ 322020「施設の複合化や集約化の推進」と一体的に検討した方が良いと思われる。
- ・ 322020「施設の複合化や集約化の推進」と施策が別々になっている理由がよくわからない。統合して推進した方がいいような（今回は無理ですが）。

**【その他】**

- ・ 「妥当でない」「わからない」となる計画に一定の傾向があるように思う。
- ・ 73 計画のなかでも市が最重要・最重点課題と考える計画などについては、より深く検討しても良いのではないか。
- ・ 補足資料は施策理解促進に大変役立った。ただし、施策によってはかみ砕かれ過ぎてしまって、掴み切れないものもあった。具体的な個別事業名・名称などを例示していただけたら、よりありがたかった。